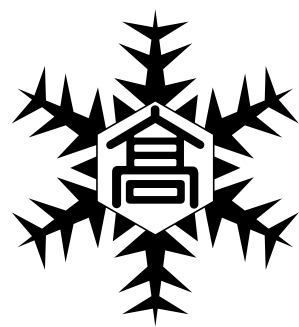


ひびき



「無限大」 深校魂 「挑戦」

『輝く深浦校舎』

PTA会長 佐藤 憲夫



寒さが厳しい季節、まずまず御健勝の事と御慶び申し上げます。平素は格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

あっという間に一年が過ぎようとしています。今年度は深浦校舎十年・深浦高校六十年記念事業がありました。この事業に当たり、一年前から協賛会長はじめ実行委員の役員の皆様、後援会長、深浦町長等、地域の皆様は大変ご尽力いただき無事挙行出来ましたことを心より感謝申し上げます。また、教職員の方々にはお忙しい中、記念誌の作成や会場の設営、祝賀会の会場手配など、ご苦労さまでした。スローガンとして『繋がり、地域と共に輝く校舎』を掲げた通り、これからの深浦校舎はますます地域と連携していかなければならないと思います。

先ごろ、青森県立高等学校教育改革推進計画が公表され、拠点校、地域校、連携校の枠組みが決まりました。深浦校舎は地域校の候補校にあげられました。これにより平成三十年以降も存続が可能となりますが、安心してはいられません。募集人員に対する入学者の割合が、二年間連続して二分の一未満となった場合には、当該高校の所属する市町村等と募集停止等の協議が始まります。深浦町から高校をなくさないために、大高同窓会長の提言のもと、深浦町長や教育長並びに中学生の保護者とグループミーティングを行い、大変有意義な意見交換が出来ました。今後二回、三回と協議を重ね、深浦校舎の魅力と実績を知己の皆様に発信し、深浦校舎を存続できるように努力したいと思えます。

結びになりますが、深浦校舎の卒業生が深浦町の将来を担っていただけますよう、心より願っております。

◎PTA行事 (4月～1月)

4月	PTA・後援会・協賛会 総会	4月28日	10月	学校祭(食堂)	10月23日
5月	第1回研修委員会	5月16日		研修旅行(十和田市現代美術館、奥入瀬溪流、 発荷峠)	10月29日
6月	豚汁調理	6月11日	11月	第8回記念事業実行委員会	11月7日
	豚汁配布			深浦校舎10年・深浦高校60年記念式典	11月19日
7月	第6回記念事業実行委員会	7月8日		祝賀会(不老ふ死温泉)	
8月	PTA教育懇談会	8月3日	1月	野球部部室完成	2月15日
9月	一声運動	9月14日			
	第7回記念事業実行委員会	9月26日			



深浦校舎十年・深浦高校六十年記念式典を終えて



渉外部主任 新谷 譲

昨年十一月十九日に、渉外部としては三年越しの懸案であった、深浦校舎十年・深浦高校六十年記念式典が滞りなく実施されました。渉外部一同は、この日を待ちわびていました。記念式典が終了した後は、式典までの経緯を振り返ってみたいと思います。

始まりは、一昨年のPTA、後援会、協賛会の理事会、総会で決まりました。その後、記念事業実行委員会が発足し、あれよあれよという間に記念式典開催に至りました。本来なら平成二十九年が周年事業の年にあたるのですが、同年度に木造高校の九十周年事業と重なることもあり、当時の笹校長を中心に皆で話し合った結果、一年前倒しで実施することになりました。周年事業という言葉は合わないということで、この言葉の使用を巡って委員の皆様と何度も議論したのも、今では良い思い出です。

例えば、大畑高校に転動した年には分校からの独立昇格記念式典、木造高校在任中には五十周年記念式典を経験しました。その頃は主任の言うことを聞いて、ただ黙々と仕事をこなすのみで、まさかここ深浦校舎で記念式典の事務局長を務めることになるとは思っていませんでした。吉田信治教頭、PTA会長、後援会長、そして大高同窓会長からの推薦もあり、当時同窓会顧問を務められていた島元孝吾さんが、記念式典実行委員長を引き受けてくださったことで、ようやく第一回会議へときぎつけることができました。第一回会議では、寄付を募らずに、現状の予算の中できちんと実行しようとしてくれたのですが、話し合いを重ねていくうちに、あれもこれもと予算が膨らんでいきました。最終的には町からの補助を頂き、お陰様をもって盛大に執り行うことができました。

記念事業全体で最も大変な仕事のひとつが、記念誌の発行です。記念誌の作成は、進路指導部主任の担当となっていました。鎌田孫秀先生、後任の松橋小百合先生を経て、今年度転任してこられた池田先生が、それを引き継いでくださいました。ほかの事業に対しても、委員の皆様からたくさんの方々の貴重なご意見・ご指摘を頂きました。ご尽力頂いた先生方、委員の皆様、本当にありがとうございました。

当初はほんやりとしていた全体像も、会議を進めていく中で、少しずつですが着実にその形が見えてきました。今年度赴任された隅田教頭先生には、全体に目を通して的確に指導して頂きました。また、昨年度赴任され、生徒指導部主任を務めている大溝先生には、会計から役割分担の調整まで、精力的に業務を遂行していただきました。記憶力が定かでない私にあっては、私の尻ぬぐいを、何度していただいたかわかりません。本当にありがとうございました。また、常勤の教職員が十六人しかいない深浦校舎において、全職員が一丸となり、十年に一度の記念式典をやり遂げることができ、この上なく幸せに思っています。

記念事業実行委員会を開いた回数は合計八回、その中では、夜の九時まで議論が盛り上がったこともありましたが、お忙しいのにも関わらず、足を運んでいただいた委員の方々には、本当に感謝しております。また、様々な面で協力頂いた関係者の方々に、この紙面を借りて厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

記念事業も、お陰様で残すは野球部の部室工事の完了を待つのみとなりました。収支決算については、来年度のPTA、後援会、協賛会の総会で報告する予定ですので、もうしばらくお待ちください。なお、途中まで記念事業の一つになっていた、第一体育館ステージの階段については、県費で購入できることになりました。今年度の卒業式で、ご披露させていただきます。以上が、私の頭に浮かんだ記念事業実施に至るまでの経緯です。私事ですが、二十四歳で北海道紋別南高校に採用され、そこに七年間勤務しました。今は廃校となり、その市を通るJR線も廃止されました。その後赴任した下北の大畑高校では、独立昇格記念式典を経験しました。ご存じの通り今は廃校、しかもJR線も廃止されています。その後の稲垣分校も廃校に。行く先々で廃校になっているので、もしかしたら深浦校舎も、と心配しています。この心配が当たらずに、十年後、二十年后も深浦校舎が存在することを信じて、私の記念事業に関わることが終わりにしたいと思っています。

最後に、これまでの五年間、渉外部主任を務めさせていただき、ありがとうございました。本にお世話になりました。今後、本校のPTA活動がこれまでに以上に発展し、活発であり続けることを願っています。



Photo アルバム 2016



